

かしわ



No. 6 平成30年7月20日 小学部の観察記録

いよいよ子どもたちが待ちに待った夏休みが来ます。暑い日が続くと思いますが、健康に留意し、事件・事故に遭わず、思い出に残る楽しい夏季休業を過ごしていただきたいと思います。 校長 北村 耕一

乳幼児相談より

夏季休業中の子どもの過ごし方について

乳幼児相談担当 黒川 はるみ

夏休みの時期になりました。長期休みにはお子さんに色々な体験をさせてあげて、一緒に楽しんでいただくと良いかと思います。新しい体験は言葉を獲得していくチャンスです。お休みを利用して水族館やふれあい動物園に行かれたりするのも、日常生活の延長でスーパーで買い物を買ったりするのも、家の中ではあまり使う機会のない言葉や表現に触れるのに有効です。行き帰りの道で耳にした電車の音、蝉の声などの聞こえた音も、体験していることと同様に、言葉にして話してあげてください。まだ発語が十分でないお子さんであれば、短い言葉が良いと思います。現在の言語レベルに合わせて少しだけレベルアップさせたりした応答の積み重ねが、保護者の方が言われていることの理解につながり、多くの言葉を獲得することにつながります。

今年は夏が例年より早く訪れました。小さいお子さんは体温も高く、汗っかきで大人よりも水分を放出しますので、こまめに水分補給をしてあげてください。熱中症には十分に気をつけて、充実した夏休みをお過ごしください。

幼稚部

夏季休業中の子どもの過ごし方について

幼稚部 岩野 恵美子

いよいよ楽しみにしていた37日間の夏休みが始まり

ます。

ご家庭では、夏祭りに参加したり、海水浴に行ったり、キャンプに出かけたりなど、いろいろな計画を立てていることと思います。是非、幼児期にしかできない夏ならではの活動をたくさん体験してほしいと思います。また、地域の行事に参加し、地域の方々や異年齢の子ども達とたくさん触れあい、地域の人に親しみをもってほしいと思います。そして、ぜひ図書館に出かけ、親子でゆっくり絵本を読んだりして子どもの想像の世界を広げ、言葉の豊かさや面白さに触れてほしいと思います。

夏は、お祭りや花火大会など楽しいことばかりで、ついつい夜更かしをしてしまうこともあります。早寝早起きを心がけ、子どもの生活リズムが崩れないように気を配っていただきたいと思います。また、暑さで疲れも溜まるので、午睡も取り入れて体調管理をしてあげてください。

夏休み明け、元気に登校してくる子ども達の姿を楽しみにしています。保護者の皆様も、どうぞよい夏休みをお過ごしください。

小学部

夏季休業中の子どもの過ごし方について

小学部 鈴木 紀子

楽しい夏休みが始まります。今年は一段と暑い夏になりそうですが、まずはご家族で体調管理をしっかり行い元気に過ごしてください。早寝早起きを心がけ、朝昼晩の食事は栄養のバランスを考えてしっかり食べ、おやつも冷たい物や、塩気や甘みの強い物ばかりにならないようにしましょう。熱中症の危険が伴うので外遊びは要注意ですが、強い日差しの時間を避け、水分補給や紫外線防止に気を使いながら思いっきり遊んでください。

継続した学習も大切ですが、趣味や興味のあることをじっくり行えるのも夏休みの楽しみです。ゲームばかりにならないように時間を上手に使いましょう。読書も大切。教科書に載っている本を一冊以上読みましょう。書店や図書館に行って自分のお気に入りを見つけたり、ご両親が子どもの頃に読んだ本を紹介したりして読書に興味を持たせてあげてください。

海に行きたい、プールでたくさん泳ぎたい、お祭りにも行きたい、花火もみたい、カブトムシも捕りたい、好きな物を作りたい、お出かけしたい……。子ども達のワクワク感が伝わってきます。たくさんのすてきな思い出話を楽しみに待っています。

中高等部

夏季休業中の子どもの過ごし方について

中高等部 渡邊 豊

子ども達が、夏休みをより楽しく、より有意義に過ごすために、保護者の皆様にご協力をお願いいたします。

(1) **家族とのふれあいを大切に** 夏休み中は、お子様の生活は家庭が中心になります。成長が著しく、発達段階にあるお子様の様子や変化に十分ご配慮ください。また、お子様とのコミュニケーションなど、ふれあいを通して、お子様の関心事、将来の夢や希望、悩み事などをゆっくりと聞いていただき、アドバイスをお願いしたいと思います。

(2) **いろいろな力を蓄える** 夏休み中に、普段できない様々な取り組みを通して、知識や経験を積み重ね、休み明けの生活への意欲と力を蓄え、発揮できるように、お子様のご支援をお願いします。そのために、①「規則正しい生活のリズム」（早寝早起きや3度の食事）②「家庭学習の習慣化」（毎日コツコツ努力する）③「家庭での役割」（家のお手伝い）④「読書のすすめ」（想像力を豊かにし、心を育む）を、ご家庭でも一緒に取り組んでいただきたいと思います。

通級指導の4月～7月を振り返って

「ことばやきこえの教室」は、開設から13年目となり、今年度教室に通ってきている児童・生徒（通級生）

は、小学生32名、中学生12名の44名です。

（ことば27名、きこえ17名）

子どもたちは在籍校より週1回通級し学習しています。課題は、きこえに関すること、発音、話し方、コミュニケーション等、様々です。基本として毎回90分の個別指導を行います。グループ指導や、年2回みんなで集まる「まとめの会」も行っています。また、必要に応じて「難聴理解授業」を在籍校にて実施しています。その他在籍校担任の先生方との面談や、保護者面談・懇談会なども行っています。

今年度、通級担当者は校内の「手話研修会」に参加しています。通級の指導で手話を使うことはないのですが、なかなか上達しませんが、ろう学校の先生方、子どもたちとの円滑なコミュニケーションを目指して頑張ります。

幼稚部校外活動 観音崎の様子

幼稚部 常盤 由美子

6月29日(金)、観音崎に行きました。たんぼぼ組、すみれ組とも事前学習を繰り返し行い、子どもたちはこの日を楽しみに待ちました。当日は夏のような暑さのなか、すみれ組幼児の隊長を先頭に、観音崎灯台を目指して歩きました。

白い灯台が見えると、「灯台、あったー！」と歓声をあげて喜びました。灯台のぐるぐる階段（螺旋階段）を上り、「おーい」と声をだしたり、事前学習のパートと同じ景色を実際に見て、「海！」「船！」と感動している子どもたちの様子を見て、私もとても嬉しくなりました。

その後、磯遊びをしました。子どもたちは網やバケツを持って、足元に気をつけながら磯を覗き込んでいました。かやどか、黄色い魚など、捕まえた水槽のなかは、まるで水族館のようでした。

最後に、「かさん、元気でね～」 「またね～」と言いながら、生き物を海にかえしました。子どもたちと一緒にあって、大人も夢中になれる校外学習の楽しいひとときを過ごしました。

